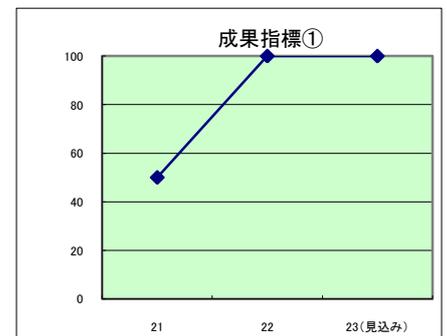
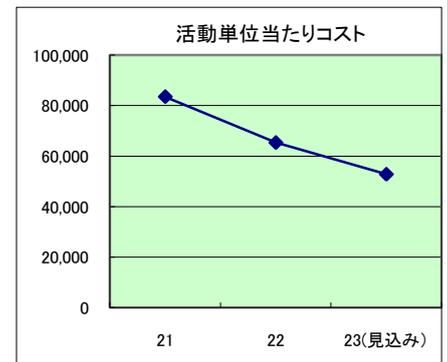


平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号 市政19

事務事業名		I T推進研究事業		予算科目	会計	1	一般会計	
まちづくりの目標(章)		5	信頼に基づく市民とともにつくるまち		款	2	総務費	
施策(節)		3	行財政運営		項	1	総務管理費	
施策の方向		(2)	情報通信技術の活用(高度情報化)と情報セキュリティの強化		目	15	情報推進費	
関連する計画等		新たな情報通信技術戦略(内閣官房IT戦略室)			事業	1	情報管理	
作成部署				市長公室政策推進課				
対象(誰を・何を)				連絡先		072-958-1111 内線 4751		
I T担当職員								
意図(どういう状態にしたいのか)								
研究会などへの参加により見識を深め、I T関連業務を適正かつ効果的に実施できるようにする。								
事業の内容				平成22年度は、システム化検討や情報セキュリティ監査など、府下共通の課題について研究する大阪電子自治体推進協議会の研究会に参加し、OpenOffice.orgの導入に関する調査、大容量ファイルの受け渡しシステムの導入に関する調査研究などにおいて成果を得た。 また、市町村の情報化を支援している(財)地方自治情報センターが実施する研究成果発表会や研修会に参加し、成果を得た。				
根拠法令等				高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(IT基本法)				
事業開始時期				<input type="checkbox"/> 昭和 15年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度 平成 年度		
事業開始時からの状況変化								
市民や議会の要望								
実施手法				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )				
委託先				<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称( ) <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容		

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)
事業費【1】(千円)		460	430	337
人件費【2】(千円)		375	1,008	720
職員数	正規職員	0.05 人	0.14 人	0.10 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考)(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)		835	1,438	1,057
財源内訳	国費(千円)			
	府費(千円)			
	市債(千円)			
	その他(手数料・使用料等)(千円)			
	一般財源(千円)	835	1,438	1,057
活動指標(事業の活動実績)【B】単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 研究会等出席回数	回	10	22	20
②				
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		83,500 円	65,364 円	52,850 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		7 円	12 円	9 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	①	研究会等出席率 (式) 出席回数÷開催回数×100	%	セミナー、研究会、研修等の内、出席が必要なものについての出席率。	目標	100	100
					実績	50	100
②	(式)			目標			
				実績			達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
		○				○	○		○	有	ITを活用した業務の改善や行政サービスの向上に向けて、継続的な調査研究は必要である。

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の業務を効率化し、ITを活用したサービスを充実させることは市民ニーズに合致する。それらの成功事例を情報収集し、本市の業務への適用に向け調査研究を行うことは必要な業務である。		
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	調査研究にかかる費用は複数団体で応分の負担を行う方式がほとんどであり、かけた費用に対して得られる成果は十分に大きい。		
	受益者負担の割合は適当である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国の「新たな情報通信技術戦略」など、IT化を推進する国家の方針に沿うものであり、行政組織や住民にとっても有益な成果が得られる事業である。		
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	研究会、研修等に積極的に参加し、成果を持ち帰ることが市の情報化推進に寄与する。		
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

担当部局評価	総合評価							
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了							
	評価の理由							
	<p>研究会、研修への参加の機会は今でも十分にあり、現状ある機会をフル活用することで成果が得られると考えている。ただ、日常業務が多忙のため、参加のための時間が割けず、拡大充実を行えないのが現状である。</p> <p>今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)</p> <p>IT推進に関する知見の蓄積、スキルの向上、業務改善の実践につなげていけるよう、個々の職員がセミナー、研究会、研修の機会を積極的に活用できる環境を作れるよう努力する。</p>							

行革本部評価	総合評価				評価理由・意見			
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	<input type="checkbox"/> 民営化・民間委託	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 完了	